

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,111,598株
株主総数	2,810名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
タイガー興産有限会社	1,965 千株	9.8 %
タイガース取引先持株会	1,358	6.8
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	986	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	979	4.9
澤田宏治	888	4.4
株式会社京都銀行	776	3.9
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	664	3.3
T.P.C持株会	605	3.0
タイガースポリマー従業員持株会	522	2.6
澤田裕治	480	2.4

(注) 持株比率は自己株式 (105,553株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

個人・その他	7,582,958株 (37.7%)
金融機関	5,600,119株 (27.8%)
その他国内法人	5,145,615株 (25.6%)
外国人	1,497,223株 (7.5%)
証券会社	180,130株 (0.9%)
自己名義株式	105,553株 (0.5%)

株主メモ／ホームページのご案内

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 https://tigers.jp/ ただし、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先・連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 ※取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金のお支払い	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

WEBサイト

<https://tigers.jp/>



証券コード:4231

第76期 報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

株主・投資家の皆さまへ

TOP MESSAGE



代表取締役社長

渡辺健太郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第76期報告書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、地政学的リスクや海外経済の不確実性、金融資本市場の変動により不透明な状況が続きましたが、企業収益や雇用情勢の改善、各種政策の効果等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

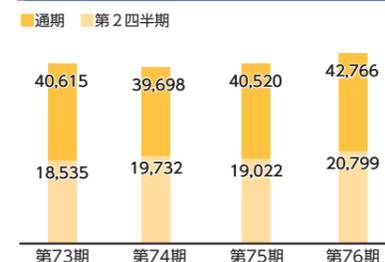
このような環境の下、当社グループの業績につきましては、日本、米州、東南アジア、中国の全ての地域で売上が増加いたしました結果、当社グループの連結売上高は、427億66百万円(前期比22億46百万円 5.5%増加)となりました。損益面では、米州で大幅な営業減益となりましたことにより、営業利益は26億68百万円(前期比1億28百万円 4.6%減少)、経常利益は27億57百万円(前期比2億90百万円 9.5%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は19億82百万円(前期比1億47百万円 6.9%減少)となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株につき9円50銭(普通配当7円50銭、記念配当2円)とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

売上高 (百万円)



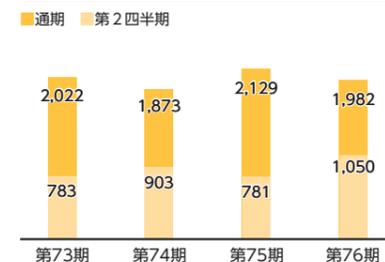
営業利益 (百万円)



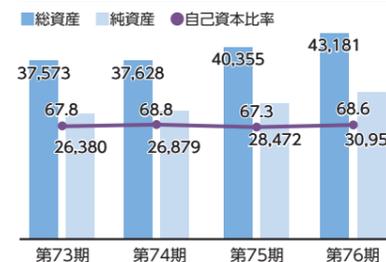
経常利益 (百万円)



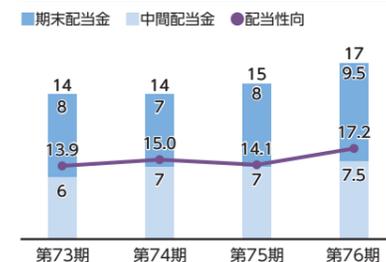
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 (百万円)



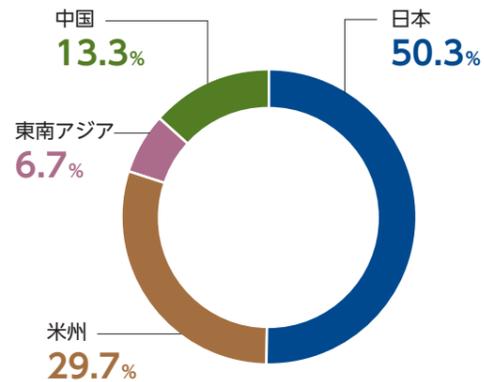
総資産 (百万円)・純資産 (百万円)・自己資本比率 (%)



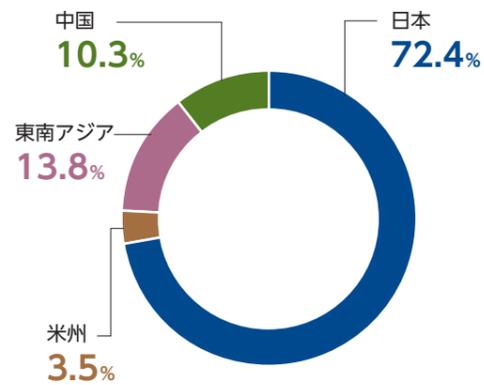
配当金 (円)・配当性向 (%)



売上高構成比



営業利益構成比



(注) 地域別の売上高および営業利益は、地域間取引消去前のものであります。

日本

産業用ホース、ゴムシート、自動車部品の販売が増加いたしました結果、売上高は230億51百万円（前期比7億51百万円 3.4%増加）となりました。営業利益は、増収の影響により、18億63百万円（前期比3億42百万円 22.5%増加）となりました。

米州

米国では、自動車部品につきましては、販売が増加いたしましたものの、工場拡張による償却費の負担増や新しい部品の立上げに伴う費用の増加などにより、増収減益となり、産業用ホースにつきましては、販売が増加いたしましたものの、労務費、諸経費の増加や為替換算の影響があり、売上高、営業利益ともに微減となりました。メキシコでは、自動車部品の販売が増加いたしましたことにより、増収増益となりました。

この結果、売上高は136億12百万円（前期比6億2百万円 4.6%増加）、営業利益は90百万円（前期比6億6百万円 87.1%減少）となりました。

東南アジア

マレーシアでは家電用ホースの販売が増加し、タイでは自動車部品の販売が増加いたしましたことにより、それぞれ増収増益となりました。

この結果、売上高は30億86百万円（前期比3億98百万円 14.8%増加）、営業利益は3億56百万円（前期比1億25百万円 54.5%増加）となりました。

中国

家電用ホースの販売は減少いたしましたものの、自動車部品の販売が増加いたしました結果、売上高は61億21百万円（前期比6億13百万円 11.1%増加）となりました。営業利益は、原材料費が増加いたしましたものの、増収の影響により、2億63百万円（前期比7百万円 3.0%増加）となりました。

グローバルな生産・供給体制を構築

タイガースポリマーグループでは、国内外に生産拠点・販売拠点・開発拠点を展開し、日本国内の事業所および国内・海外の子会社との有機的なネットワークを形成することにより、グローバルな生産・供給体制を構築しています。

- ① 本社 ② 東京支店/オートモーティブ事業室 東京
- ③ 名古屋支店/オートモーティブ事業室 名古屋 ④ 大阪支店
- ⑤ 広島支店 ⑥ 福岡支店/オートモーティブ事業室 福岡 ⑦ 仙台営業所
- ⑧ 栃木工場/オートモーティブ事業室 栃木 ⑨ 静岡工場 ⑩ 岡山工場
- ⑪ 開発研究所 ⑫ 購買部 ⑬ Tigerflex Corporation (米国)
- ⑭ Tigerpoly Manufacturing, Inc. (米国)
- ⑮ Tigerpoly Industria de Mexico S.A. de C.V. (メキシコ)
- ⑯ Tigerpoly (Thailand) Ltd. (タイ国)
- ⑰ Tigers Polymer (Malaysia) Sdn. Bhd. (マレーシア)
- ⑱ 杭州泰賀塑化有限公司 (中国) ⑲ 広州泰賀塑化有限公司 (中国)
- ⑳ 武庫川化成株式会社 (兵庫県) ㉑ 高槻化成株式会社 (大阪府)
- ㉒ タイガース工販株式会社 (兵庫県)



研究・開発

独自性の高い新製品の提供で、常に市場ニーズを先取り

当社は、新製品・改良製品の開発体制の強化を最重要課題に、基礎技術、商品開発技術、製造技術等の技術開発に力を注いでいます。材料から加工・金型・設備まで、ゴム・樹脂製品を開発するための基本技術を全て自社で保有しているため、開発スピードが速く、独自性の強い新製品を常に提供することで市場から高い評価を得ています。より高品質の製品をより効率的に生産するために、製造設備・生産技術の改良やコストダウンに取り組むとともに、ホース、ゴムシート、成形品の各部門にわたり、常に市場ニーズを先取りした研究開発に挑戦し続けています。

自動車部品		ホース	
 エアクリナー	 HVACダクト	 家電用 (洗濯機用ホース)	 家電用 (エアコン用ホース)
 エンジンカバー	 ゴムシート	 家電用 (掃除機用ホース)	
	 融雪ゴムマット		

自動車部品	
 バッテリー冷却システム	 エアクリナーホース
ゴムシート	
 ウレタンゴム成形品	 シリコンスポンジ
ホース	
 産業用 (土木用耐摩ホース)	 産業用 (地中埋設管)